

科目名		授業形態	担当教員名	
システム工学演習		演習	遠藤 宏和	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	2 年次	後期
授業の目的・概要				
医療分野で利用されるシステム工学を学び、その実践応用を理解する基礎的能力を養う。				
授業の到達目標				
システム工学で学んだ知識を用いて演習を行い、医療安全をシステムで考える方法を修得する。				
授業計画				
回	内容			
1	システムとは			
2	情報管理、病院のセキュリティ			
3	病院のセキュリティシステム			
4	ヒューマンエラーの考え方・行動特性			
5	ヒューマンエラーの分析方法（ハインリッヒの法則・フレームワーク）			
6	ヒューマンエラーの分析方法（フレームワーク実践）			
7	病院内でのヒューマンエラー（ヒヤリハット事例と対策）			
8	ヒューマンエラー対策			
9	①事象の整理 ②問題点の抽出、背後要因の探索			
10	③対策案の列举、対策の決定			
11	④対策の実施と対策の効果と評価			
12	危険予知トレーニング			
13	危険予知トレーニング実践（事象①②）			
14	危険予知トレーニング実践（事象③④）			
15	まとめ			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験				
レポート	100%	各テーマごとに行い、レポート提出とその内容を評価する。		
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
なし				
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
自由記載				
備考				